

だがしや楽校 @ 山形・みなみ公園

にちじ：2011年7月16日（土）13:30～15:30

ばしょ：山形市・みなみ公園（山形市南一番町）

2011年7月16日（土曜日）晴れ

【だがしや楽校@山形・みなみ公園】

東北芸術工科大学・学生さんによる“だがしや楽校@山形・みなみ公園”。今年2回目のレポートです。ただし今回は、このあと鶴岡でのミーティング出席と“だがしや楽校@山王ナイトバザール”取材が控えているため、残念ながら途中までの取材となりました。

今回学生さんが出された屋台には、最後まで拝見して、そのおもしろさが実感できるおみせもあり、途中までの取材はとても残念なのですが、雰囲気だけでもご紹介したいと思います。

7月11日に梅雨明けした山形市は、毎日暑い日が続いています。この日も最高気温 34.0℃を記録しました。“だがしや楽校”を開く時間帯は、1日中で最も暑い時間帯です。チョッピリ心配しながらも、「“だがしや楽校”で暑さなんか吹き飛ばそう」という思いもありました。

この暑さで、毎日熱中症がニュースになっています。節電が呼びかけられる中、過度な節電で熱中症にかかり、亡くなってしまう方がいる、というニュースを聞きますと、心が痛みます。

しかし、よくみますと、熱中症は高齢者の方が多くかかっているものの、若い人でも熱中症で倒れている人が多くなっています。

昔も暑かったです。しかし、熱中症などという言葉は聞きませんでした。ところが、現代は、真夏になると、毎日のように聞きます。どうしてなのでしょう。

昔も熱中症にかかった人はいたでしょう。それが情報にならなただけかもしれません。しかし、最近では、私たち自体が熱中症にかかりやすくなったのではないかと、思うのです。早い話、弱くなったということです。

なぜ弱くなったのかは、私もわかりません。ただ、私たちが子どもの頃は、暑い中でも外で遊びました。カンカン照りの中、遊びました。それで、熱射病という言葉は聞いたことがあります。だから、確かに暑さの中での遊び方は注意しなければなりません。でも、今はあまりにもひ弱になっている！

そういう意味でも、真夏の“だがしや楽校”は意味があると思います。

この日の“だがしや楽校”では、学生さんたちが、どこでおみせを開くのかも注目です。みなみ公園には、たくさんの木立があります。

お昼の12時50分頃、私（山口）がみなみ公園に着きますと、すでに数人の学生さんが集まっていました。その後も続々と学生さんが集まってきます。そして、駄菓子屋・はじめやの店先でひと

休みです。

上空は、僅かに雲はあるものの、カンカン照りです。気温は30℃を遥かに超えています。

みなみ公園脇の市民プールからは、大勢の子どもたちの歓声が聞こえます。こんな中、子どもたちは“だがしや楽校”に集ってくれるでしょうか。

こういう日の開催時間は、午前中とか、もうちょっと遅い夕方にするとか、柔軟に考えた方が良さそうです。

午後1時をすぎても、なかなか準備を始めようとしない学生さんに、はじめやおばちゃん・山川さんが「ビールケースはあそこに、ブルーシートはそこにあります」と声をかけます。学生さん、ようやく準備に取り掛かりました。

集まりは良かったですが、準備の取っ掛かりがやや遅かったです。私も途中までの取材でしたので、少々気になりました。

けん玉など昔遊びのSさんたちが到着、私も手伝って、いつもの場所に屋台を設置しました。

午後1時10分をすぎて、Yoshiさんに片桐さん（東北芸術大学）が到着、学生さんたちの本格的な準備が始まりました。

“だがしや楽校”が始まる頃には、自宅から歩いてきたという楽描きのリクリンさんも到着しました。元気な人は、カンカン照りの暑さでも、こうなんです。見習わなくちゃ！

こうして、この日の“だがしや楽校@みなみ公園”は始まりました。



それでは、東北芸術工科大学（以下「芸工大」と表記します）学生さんが出された4つの屋台をご紹介します。

▼音コレクション 2011 夏

ペットボトル・缶・ビン・石・米・塩など身近なもので「いろんな音を作ってみよう」というおみせです。また、涼しい音、おとうさんの音、夏の音、楽しい音などのお題を決めて「その音を作ってみよう」という音で楽しむおみせです。



おみせでは「音当てクイズ」も行われ、お子さんが楽しそうに問題を出していました。



外国の方も参加され、国際色豊かなおみせになりました。

▼ひげつかい

カラフルなビニールテープを使ってヒゲを作って“ひげつかい”になって遊ぼうというおみせです。これまで思い付かなかった遊びです。



どんな“ひげつかい”になったのかな・・・。



楽描きのリクリンさんも楽しんでおられます。

▼てるてるすくい

発泡スチロールで作ったてるてる坊主を水に浮かべ、それをすくって遊ぼうというおみせです。この日のおみせの中では、一番涼しげな遊びでした。



おやおや、人間てるてる坊主も登場しました。

▼パイレーツ・オブ・グラッシーズ



写真は剣を作っているところです。この剣ができればダンボールで作る船に乗って、みんなで海族となって冒険の旅に出発し、敵に奪われたメガネを取り返そう、という遊びです。

航海コースはグラッシーズ海（みなみ公園の沼）を一周するコースです。

相当こりにこった遊びです。これぞ最後まで見たかった遊びです。

実際このあと、どうなったのでしょうか。“かたけんブログ”で紹介されると思いますので、そちらをご覧くださいと思います。

以上が、芸工大・学生さんの屋台です。



▼昔遊び

お馴染み、Sさんたちの昔遊びの屋台です。この日も、けん玉やお手玉などが準備されました。



《振り返り》

振り返りと言っても、午後2時15分頃までしか拝見することができませんでしたので、きちんとした振り返りはできませんが、気が付いた点をいくつか申し上げます。

この暑さで、子どもたちの数は少なくなりましたが、それでも、のんびり・ゆったりした“だがしや楽校”の雰囲気を楽しむことができました。

暑かったですが、学生さんが上手に日陰に屋台を設置しましたので、僅かでも涼しさを感じることができました。ただ、時間の経過と共に、“音コレクション2011夏”と“ひげつかい”は、日差しに照り付けられたかもしれせん。

先にもご紹介しましたが、暑い日の野外での“だがしや楽校”については、開催時間帯の工夫が必要です。

はじめやおばちゃん・山川さんも気にしていましたが、この日は準備の取っ掛かり方が鈍かったです。こういうところも子どもたちは見えています。

学生さんの遊びのアイデアには脱帽ですが、今回は正直、全体的に「やや懲りすぎかな」とも感じました。次回は、シンプルだけど、そこに創意工夫することで、遊び・楽しみが深まっていくというおみせ・屋台に期待したいです。

企画・制作・編集・文責

山口充夫

だがしや楽校コーディネーター